記者発表資料

平成２４年９月１０日
国土交通省東北地方整備局
新庄河川事務所

～　鳥海山噴火時の被害想定･緊急対策方針を検討　～

「第2回鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を開催します

国土交通省新庄河川事務所では、鳥海山の火山噴火に伴い発生する土砂災害をできる限り軽減することを目的とした「鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定するため、下記のとおり第２回目の委員会を行いますのでご案内いたします。

１．日　時：平成２４年９月１２日（水）１３：００～１５：００
２．場　所：パレス舞鶴
〒999-8311　山形県飽海郡遊佐町小原田字沼田12-1
TEL：0234-72-3366
３．内　容：①鳥海山火山噴火緊急減災計画のこれまでの経緯について
②噴火時における被害想定の確認について
③緊急対策方針の設定について

（鳥海山火山噴火の歴史）

・鳥海山は活火山で有史以降も活発な活動を継続し、貞観11(869)年の貞観地震後に発生した火山噴火では、大規模な被害が発生

・近年では昭和49（1974）年に小規模な噴火が発生し、小規模な融雪型火山泥流が発生

（鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会）

・平成23年12月に、学識者と関係行政機関からなる「鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を設置（第１回委員会）　※委員は別紙の委員名簿参照

・当委員会は「火山噴火緊急減災対策砂防計画策定ガイドライン」（平成19年4月 国交省砂防部）に基づき、火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して緊急的に実施する対策（ハード及びソフト対策）及び平常時からの準備事項等を検討、年度末にとりまとめ予定

＜発表記者会：新庄新聞放送記者会、酒田記者クラブ、秋田県政記者会＞

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　新庄河川事務所
山形県新庄市小田島町５－５５
ＴＥＬ：０２３３－２２－０２５１（代）
調査課長　　髙田（たかだ）　浩穂（ひろほ）　（内線３５１）

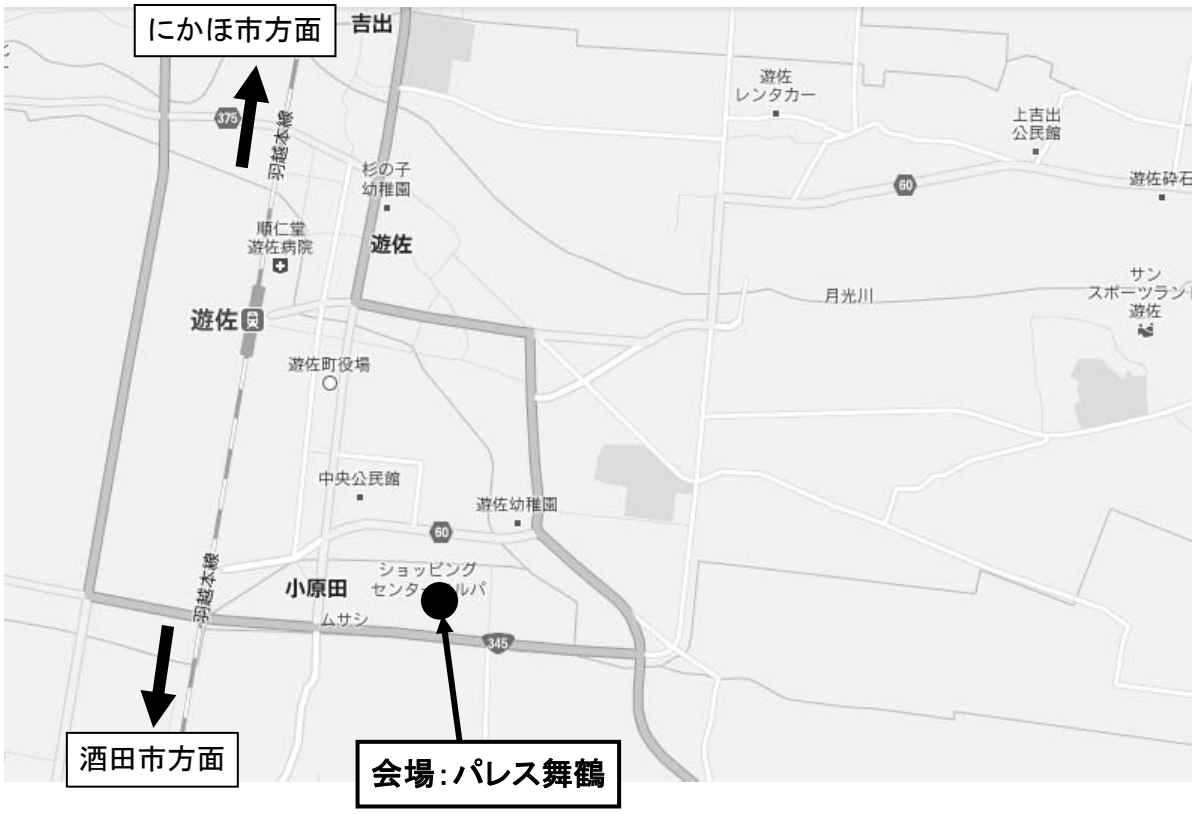
【 会場位置図 】

パレス舞鶴

〒999-8311

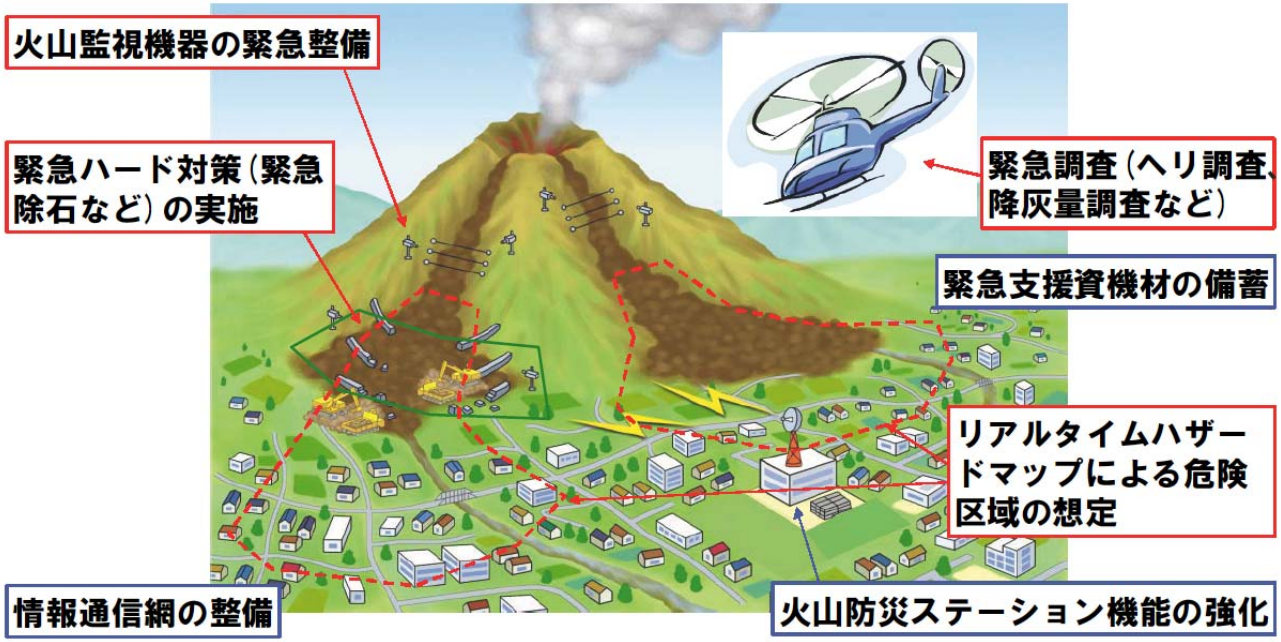
山形県飽海郡遊佐町小原田字沼田12-1

TEL:0234-72-3366



委員構成	鳥海山火山噴火緊急減災砂防計画検討委員会 名簿	
	氏名	所属・役職等
学識経験者	檜垣 大助	弘前大学農学生命科学部 教授
	林 信太郎	秋田大学教育文化学部 教授
	植木 貞人	東北大学大学院 准教授
	井良沢 道也	岩手大学農学部 准教授
専門機関	岡本 敦	国総研/砂防研究室室長
	石塚 忠範	土研/火山土石流ﾁｰﾑ上席研究員
	吉田 明博	気象庁仙台管区/火山防災情報調整官
	菅原 寿	山形地方気象台防災業務課長
	鳴海 敏光	秋田地方気象台防災業務課長
行政機関 （国）	須藤 文雄	林野庁/由利森林管理署長
	西 真	林野庁/庄内森林管理署長
	横山 喜代太	東北地整/河川部流域・水防調整官
	小松 寿	鳥海ダム調査事務所長
	花岡 正明	新庄河川事務所長
行政機関 （県）	佐藤 義治	山形県県土整備部砂防・災害対策課課長
	須藤 勇司	山形県環境エネルギー部危機管理・ くらし安心局危機管理課課長
	齋藤 春美	秋田県建設交通部河川砂防課課長
	佐藤 昇	秋田県総務部総合防災課課長
行政機関 （市町村）	阿部 寿一	酒田市長
	時田 博機	遊佐町長
	横山 忠長	にかほ市長
	長谷部 誠	由利本荘市長
事務局	新庄河川事務所	
備考		

火山噴火緊急減災対策砂防計画の概要



緊急減災対策砂防計画の実施イメージ

平常時

緊急時

平常時からの準備事項

- 緊急支援資機材の備蓄
- 火山防災ステーション機能の強化
- 火山山麓緩衝帯の設定
- 火山専門家との連携
- 関係機関との調整
- 地形データ、保全対象分布、施設整備状況などの火山データベースの整備
- 光ケーブル等の情報通信網の整備

緊急時に実施する対策

緊急ハード対策

- 緊急調査（前兆時から噴火修了まで）
- 緊急ハード対策施設の施工（除石・遊砂地・導流堤等）

緊急ソフト対策

- 火山監視機器の緊急整備
- ﾘｱﾙﾀｲﾑﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟによる危険区域の想定